

ボランティアの傷害保険に係る政務活動費の充当について

■ 傷害保険の契約方法について

記名式	<p>(保険の対象者について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約時に定めた被保険者人数の範囲で、<u>登録した者が被保険者</u>となり、業務 従事中に被った傷害に限り、保険が適用される。 <p>(保険の対象者の記名について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>契約時に被保険者の名前等を登録</u>する必要がある。
準記名式	<p>(保険の対象者について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約時に定めた <u>1日に従事する被保険者人数の範囲内</u>で、<u>業務従事者名簿</u> <u>に記載された者が業務従事中に被った傷害に限り</u>、保険が適用される。 <p>(保険の対象者の記名について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約時に被保険者の名前等を登録する必要がない。 ・ <u>業務従事予定者を特定し、その全員を示す業務従事者名簿を備え</u>、保険会社 から閲覧を求められた場合は応じなければならない。

■ 準記名式の場合の被保険者の範囲の確認について

契約時に備え付けている業務従事者名簿で、被保険者の範囲を確認することができる。

■ 支出についての挙証資料について (例)

- ① 当該保険証券 (写し)
- ② 業務従事者名簿 (準記名式の場合に限る)
- ③ ボランティアの活動実績 (日時、内容等) がわかるもの

【参考】各会派等より出された主な意見（○は「R2.8.19」、□は「R2.1.27」、△は「H31.1.22」）

<p>大阪維新の会 堺市議会議員団</p>	<p>○各議員の責任で充当するか否かを判断し、市民に説明できるようにすればよい。</p> <p>○保険のかけ方や方式（記名・無記名）などいろいろあるので、運用指針の見直しはむずかしいのではないかと考える。</p> <p>□運用指針の見直しまで考えていない。</p> <p>△被保険者の名前等を登録する記名式にすべきと考える。政務活動と政治活動が混在していないと認められるものに限って政務活動費の充当を行うべきと考える。</p>
<p>公明党 堺市議団</p>	<p>○充当を認める場合は 明確な条件が必要である。</p> <p>○充当する場合は、記名方式として、誰を対象にするのか明確にすべき。</p>
<p>自由民主党・ 市民クラブ</p>	<p>○条件付きで充当を認めてよい。条件を明確にした上で進めていただきたい。</p> <p>□被保険者の名前の登録やボランティアの政務活動内容について明確にする必要がある。その点を運用指針に定める方がよい。</p> <p>△被保険者の名前等を登録する記名式にすべきと考える。</p> <p>△ボランティアの政務活動内容についても明確にする方法をとっていただきたい。</p>
<p>堺創志会</p>	<p>○認める方向で進めていただきたい。</p> <p>○保険を充当できることが運用指針に入っていれば、どんな保険にするかは個々の議員で判断し、適切なものかどうかは市民に拳証資料を提示のうえ説明すればよいので、あまり細かな設定は必要ないと考える。</p> <p>△大阪維新の会堺市議会議員団、自由民主党・市民クラブとほぼ同じ考えである。</p>
<p>日本共産党 堺市議会議員団</p>	<p>○認める意向だが、認める場合は基準を明確にしたほうがよい。</p> <p>○方式により金額の差がある。保険の詳しい内容がわからないので、別途議論したほうがよいのではないかと考える。</p> <p>△被保険者の名前等を登録する記名式にすべきと考える。</p>
<p>長谷川俊英議員</p>	<p>○現在は「準記名式」で加入しており、30人が上限の記名式（変動しても構わない）、1日の活動は4人以内の補償という契約で年間約6万円を支払っている。全員記名式であれば保険料は約30万円になる。</p> <p>○ボランティアの全員記名式にした場合、準記名式より保険料が高額となるため、政務活動費を充当する金額も高額となる。また、ボランティアが自由に参加できなくなりボランティア保険という性格上なじまず、提案を取り下げることやぶさかでない。</p> <p>△大阪維新の会堺市議会議員団から意見として政治活動と政務活動の区分は必要だが、非常に難しいと思う。区分することが難しい場合は按分方式をとることが考えられる。</p> <p>△契約期間は1年間で良いが、議員の任期を超えてまでの契約はおかしい。一月単位、日数単位で保険契約できるから、任期内で終わるようにすべきと考える。</p>